発　言　通　告　書

令和５年９月７日

松山市議会議長　渡部克彦　殿

松山市議会議員　**小崎愛子**

次のとおり通告します。

発言順位	１５	受領日時	９月　７日　午前　９時　50分	１　枚中　１　枚目
質問等の方式	一問一答方式 ・ 一括方式		発言時間	約　30　分
答弁を求める者	・市長　・教育長　・選挙管理委員会委員長　・公平委員会委員長 ・農業委員会会長　・監査委員　・公営企業管理者			

No.	件名	発言の要旨
1	**市民所得とインボイス制度の導入について**	(1)市民の給与収入を上げるために、令和４年12月議会での質問時からこの間に取り組んだ施策や成果について問う。
		(2)インボイス制度が導入されると、本市で対象になる人数はどれくらいいるのか。
		(3)市としてインボイス制度の中止・延期を求めるべきと考えるが、見解を問う。
2	**新型コロナウイルス第９波への対策について**	(1)５類感染症における感染症拡大防止対策の啓発について見解を問う。
		(2)医療事業者への財政支援や検査に対する支援について
		①医療現場の実態を把握し、医療機関にも迅速抗原検査キットを定期的に無料配付してはどうか。
		②新型コロナウイルス感染症に対応する救急指定病院への補助金の増額を考えてはどうか。
3	**防災力向上にジェンダー視点を取り入れることについて**	(1)各地区ごとの避難所運営の話合いの場に参加する男女の比率について問う。
		(2)2018年の西日本豪雨災害時やその他の災害時の避難所における暴力の実態について問う。
		(3)本市の避難所の更衣室や授乳室の現状と、今後の環境改善について問う。